

B-51 芯地に関する意識ならびに利用状況についての調査

福山市立女短大 ○安原由紀子 広島大教育 山田都一

〔目的〕 芯地は被服の出来映え，着用中の型くずれなどを大きく左右する。しかし，その重要さが消費者に認識されていないように思えるので，実際に芯地にどれくらい関心を持っているのか，また，実際にどれくらい使用されているのか，使用上どのような点が問題になったかを知るために，アンケート調査を行った。

〔方法〕 広島県内の3つの大学の女子学生450人と，その学生の父兄などの一般女子消費者192人について，被服を買うとき，作るとき，注文するときの芯地への配慮，被服の着用中におこった芯地に関するトラブル等を調査した（1976年2月実施）。

〔結果〕 1. 消費者の知名度の高い芯地は，衿芯（麻芯），不織布接着芯地，キャラコ，帯芯，毛芯などである。このうち実際に使われるものは，不織布接着芯地と毛芯が多いようである。 2. 既製服を選ぶ場合，女子学生で芯地を調べる人は非常に少ないが，30～40年代の消費者は学生に比べ多いようである。 3. 被服をオーダーする場合，芯地を吟味する消費者は少ない。 4. 芯地を使って被服を製作したことがある人が挙げた芯地の使用目的には，型くずれを防ぐためと，保型性を出すためとが一番多い。 5. 被服を着用して，芯地に関してのトラブルを経験した人は約1/3ぐらいおり，洗濯による縮みや型くずれ，芯地のはく離が主な原因のようである。また，部位別では，スカートのベルト，衿，前身頃が多い。 6. 接着芯地の欠点は，トラブルの原因ともなっているはく離しやすさを挙げている。